

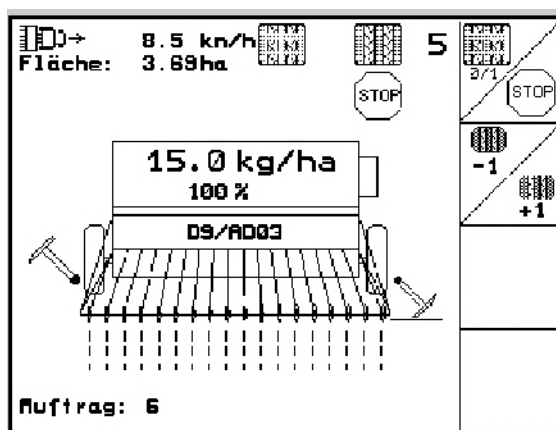
取扱説明書

AMAZONE

ソフトウェア **AMABUS**

とマルチファンクションハンドル

機械シードドリル



MG4929

BAG0119.0 12.12

Printed in Germany

初期設定を行う前に、本取扱説明書をよくお読みください。今後必要になる場合に備え、安全な場所に保管してください。

ja



顧客の皆様

オンボードコンピュータ **AMATRON 3** は AMAZONEN-WERKE, H. Dreyer GmbH & Co. KG の多彩な高品質製品群のひとつです。

この新しいオンボードコンピュータを シードドリル D9 と AD03 と一緒に完全に使いこなすためには、機械の初期設定前にこの取扱説明書に入念に目を通し、その内容を遵守してください。

初期設定を行う前に、機械を操作する人が全員、本取扱説明書を読んだことを確認してください。

本取扱説明書は **AMAZONE 機械ドリルマシン**と組合わせた **AMATRON 3** シリーズのボードコンピュータに当てはまります。



AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Copyright © 2006 AMAZONEN-WERKE
H. DREYER GmbH & Co. KG
D-49502 Hasbergen-Gaste
Germany
All rights reserved.



目次

1.	安全性.....	5
1.1	安全上の注意事項を守らないことによる潜在的な危険.....	5
1.2	ユーザーの資格	5
1.3	本取扱説明書における注記の マーク.....	5
1.3.1	一般的な危険記号	5
1.3.2	注意記号	5
1.3.3	注記記号	5
2.	製品の説明	6
2.1	AMATRON 3での入力操作.....	6
2.2	ソフトウェアの階層	7
3.	初期設定.....	8
3.1	メインメニュー	8
3.1.1	機械データの入力	9
3.1.1.1	インターバルトラムラインコントロールの播種済みおよび非播種済み区間の入力 (m).....	11
3.1.1.2	距離センサのキャリブレーション	12
3.1.2	ジョブの作成	14
3.1.3	外部のジョブ	15
3.1.4	キャリブレーションテスト	16
3.1.4.1	種子量遠隔調節システムのあるシードドリルのキャリブレーション	17
3.1.5	セットアップメニュー.....	19
4.	圃場での使用.....	22
4.1	作業メニュー D9/A003	23
4.1.1	作業メニューの表示	23
4.1.2	使用時の手順	23
4.1.3	作業メニューのキーの割り当て	24
4.1.4	マルチファンクションスティックの割り当て	24
5.	マルチファンクションハンドル.....	25
5.1	オプション	25
5.2	機能.....	25
5.3	キーの割り当て:	26
6.	メンテナンス.....	27
6.1	ギアボックスのキャリブレーション	27



7.	ヘルプメニュー	28
8.	故障.....	29
8.1	アラーム.....	29
8.2	距離センサの故障	30

1. 安全性

本取扱説明書の安全上の注意事項はすべて遵守しなければなりません。

1.1 安全上の注意事項を守らないことによる潜在的な危険

安全上の注意事項を守らないと、

- 人に対しても、機械や環境に対しても危険となる可能性があります。
- すべての保証規定が適用されないことがあります。

特に、安全上の注意事項を守らないと、以下の危険が生じる恐れがあります。

- 作業幅の安全を確保しないことによる、人への危険。
- 機械の重要な機能の故障。
- 所定のメンテナンス・修理方法の不履行。
- 機械的・化学的影響による、人への危険。
- 油圧油の漏れによる環境への危険。

1.2 ユーザーの資格

この装置は、専門知識を有し、関連する危険について研修を受けた人だけが操作、メンテナンスおよび修理を担当できます。

1.3 本取扱説明書における注記のマーク

1.3.1 一般的な危険記号



この取扱説明書では、遵守しない場合には人に対する危険が生じる恐れのある安全上の注意事項には、一般的な危険記号 (DIN 4844-W9 準拠の安全記号) が表示されています。

1.3.2 注意記号



遵守しない場合には機械とその機能に対する危険が生じる恐れのある安全上の注意事項には、注意記号が表示されています。

1.3.3 注記記号



機械が支障なく機能するために遵守しなければならない、機械特有の事情についての注記には、注記記号が表示されています。



2. 製品の説明

AMA-

BUSソフトウェアと操作端末AMATRON

3により、AMAZONE機械の制御、操作および監視を容易に行えます。

本取扱説明書は、以下のソフトウェアバージョン以降についてのものです。


- 機械 MHX バージョン: 2.14

2.1 AMATRON 3での入力操作



本取扱説明書では、ファンクション欄を使って AMATRON 3 の操作方法を説明します。実際には、各ファンクション欄に対応するキーを押してください。

例：

- ファンクション欄 ：

本取扱説明書での説明：



欄を保存します。

操作：

この欄を保存するには、オペレーターはファンクション欄 A に割り当てられているキー (図 1/1) を押します。

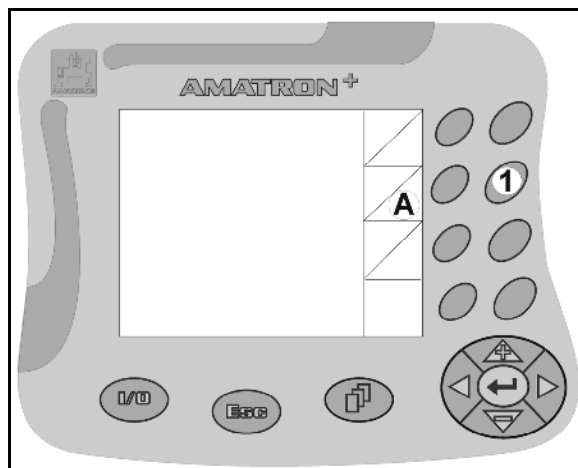
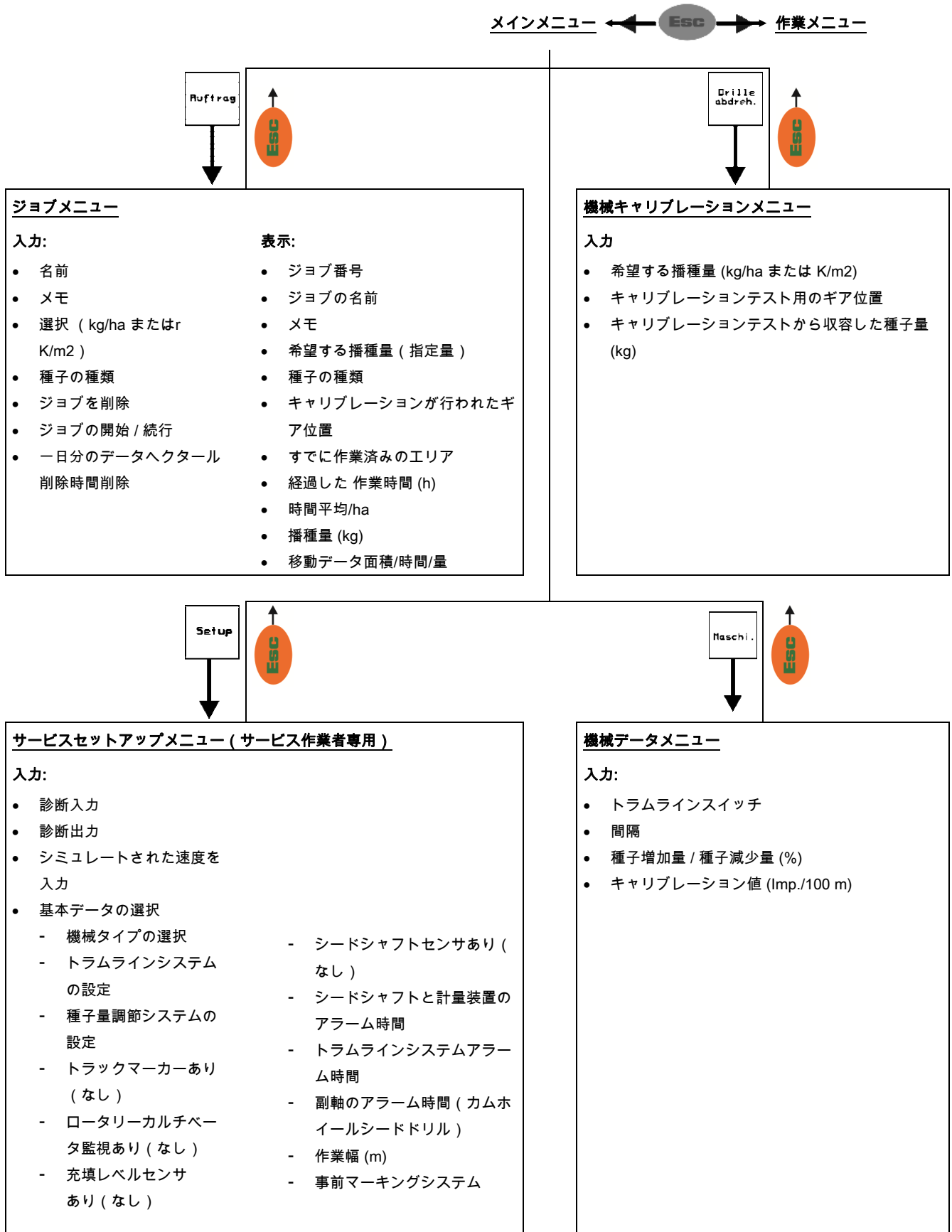


図 1

2.2 ソフトウェアの階層





3. 初期設定

3.1 メインメニュー



ジョブメニュー: ジョブ用データの入力。
播種を開始する前にジョブを開始します
(3.1.2 章を参照)。



ドリルキャリブレーションメニュー:
播種開始前にキャリブレーションテスト
を実行します (3.1.3 章を参照)。



機械データメニュー: 機械の固有データ
または個別データを入力
(3.1.1 章を参照)。



セットアップメニュー:
メンテナンスや故障時のカスタマーサポ
ート用のデータ入力およびデータ読み出
し (3.1.5 章を参照)。

Maschinentyp: 09/AD03		Auftrag
Auftrags-Nr.: 6		Drille abdreh.
Fahrgassenrhythmusnr.: 15		Maschi.
Arbeitsbreite: 2.5m		Setup
Arbeits- menü	Hilfe	

図 2

3.1.1 機械データの入力

機械データメニュー (図 3):

- 希望するトラムラインリズムの入力
(表 図 4 ~ 図 6 を参照)。
- インターバルトラムラインコントロールの入力
(3.1.1.1 章を参照)。
- 量変更幅の入力
% (作業中のパーセント単位による播種量変更の
値、 および を使用)。
- 距離センサのキャリブレーション
(3.1.1.2 章を参照)。

Fahrgassenrhythmusnr.: 15	
Intervallabstand: 20 / 20	
Mengenschritt: 10%	Menge in %
Impulse pro 100m: 1107	 I./100m Maschine

図 3

トラムラインリズム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
トラムラインカウンタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1
		1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2
		2		3	3	3	3	3	3	0	4	3	3	3
					4	4	4	4	4	5	5	4	4	4
						5	5	5	5	6	6	5	5	5
							6	6	6	0	7	6	6	6
								7	7	8	8	7	7	7
									8	9	0	8	8	8
										10	10	9	9	9
												10	10	10
												11	11	11
													12	12
														13

図 4



トラムライン ンリズム	15	16	17	20	21	22	23	26	32					
トラムラインカウンタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0					
	スイッチ 15 はトラムラインを形成しません。	1	1	1	0	0	0	1	0					
		2	2	2	1	1	1	2	1					
		3	3	3	2	2	2	3	2					
		4	4	4	3	3	3	4	3					
		5	5	5	4	4	4	5	4					
		6	6	6		5	5	6	5					
		7	7	7		6	6	7	6					
		8	8	8			7	8	7					
		9	9	9			8	9	8					
		10	10					10	9					
		11	11						10					
		12	12											
		13	13											
		14	14											
		15	15											
			16											

図 5

ダブルトラムラインスイッチ																				
トラムライン リズム	左 18	右 18	左 19	右 19	左 24	右 24	左 25	右 25	左 27	右 27	左 28	右 28	左 29	右 29	左 30	右 30	左 31	右 31	左 33	右 33
トラムラインカウンタ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2	0	2	0	2	0	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2
	0	3	3	0	3	3	3	3	3	3	0	3			3	3	0	3	3	3
	4	4	4	4	0	4	4	4	4	4	0	4			4	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5	5	5	5	0	5	5	5			5	0			0	5
	6	6	6	6	6	6	0	6	0	6	6	0			6	6			6	6
	7	0	0	7	0	7	7	7	7	7									7	7
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8									8	8
	9	9	9	9	9	0	0	9	9	0									9	9
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10									10	10
	11	11	11	11			11	11												
	12	0	0	12			12	12												
	13	13	13	13			13	0												
	14	14	14	14			14	14												
	15	15	15	15																
	0	16	16	0																
	17	17	17	17																
	18	18	18	18																

図 6

3.1.1.1 インターバルトラムラインコントロールの播種済みおよび非播種済み区間の入力 (m)



インターバルトラムラインコントロールが ON になっている場合の播種済み距離の入力 (m)。



インターバルトラムラインコントロールが ON になっている場合の非播種済み距離の入力 (m)。

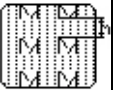
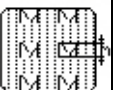
besäte Strecke:	20m	
unbesäte Strecke:	20m	

図 7

BAG0119.0 12.12

測定距離を移動することでキャリブレーション値を検出:

- 圃場でちょうど 100 m の測定距離を測定します。測定距離の開始地点と終了地点をマークします (図 9)。

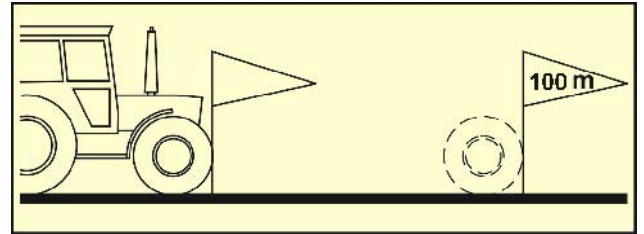





図 9

-  キャリブレーションを開始します。
- 開始地点から終了地点まで測定距離を移動します (移動開始時にカウンタは「0」になります)。ディスプレイには連続して検出されるインパルスが表示されます。
- 100 m 後、停止してください。ディスプレイには検出されたインパルスの値が表示されています。

-  値「Imp./100m」を適用します。
-  値「Imp./100m」を保存しません。

キャリブレーション値「Imp./100m」はシードドリルタイプと土壤に応じて異なります。	シードドリルの機械構造 AD03	機械シードドリル D9
キャリブレーション値「Imp/100m」		
欄1		
欄2		


図 10










3.1.2 ジョブの作成


ジョブメニューを開くと、前回開始されているジョブが表示されます。

最大 20 件のジョブを保存できます。

 新しいジョブを作成するために、ジョブ番号 (図 11/1) を選択します。


-  名前を入力
-  メモを入力
-  該当するジョブのすべてのデータを削除
-  ジョブを開始し、集積されるデータがこのジョブに保存されるようにします。
-  規定量を入力
-  種子の種類、1000
種子質量と量表示を入力
-  当日のデータを削除
 - 作業済みエリア (ha/日)
 - 撒かれた種子量 (量/日)
 - 作業時間 (時間/日)



 保存済みのジョブは  で呼び出し、

 で処理を再開できます。

Auftrags-Nr.: 6		Shift	Name
Name: _____			Notiz
Notiz: _____			löschen
Sollmenge: 15.00 kg/ha			starten
Saatgutart: Feinsämereien			kg/ha
Kal.Getriebebos.: 65.0			K/n²
Auftrag: fertige ha: 15.00 ha			Sorte
Stunden: 5.0 h			Tages-
Durchschnitt: 2.50 ha/h			daten
ausgeb. Menge: 225 kg			löschen
Tripdaten:			
Fläche: 3.69 ha			
Stunden: 0.5 h			
Menge: 55 kg			
1			

図 11

シフトキーを押した場合  (図 12) :

-  次のジョブページに進みます。
-  前のジョブページに戻ります。




Auftrags-Nr.:	2 gestartet	Auftrag vor
Name:	Auftrag zurück
Notiz:	
Sollmenge:	200 kg/ha	
fertige Fläche:	0.00 ha	
Stunden:	0.0 h	
Durchschnitt	0.00 ha/h	
ausgeb. Menge:	0 kg	
ha/Tag:	0.00 ha	
Menge/Tag:	0 kg	
Stunden/Tag:	0.0 h	
 2/20		

図 12

3.1.3 外部のジョブ

PDA によって外部のジョブを AMATRON 3 に転送して開始することができます。
この外部ジョブのジョブ番号は常に21になります。
データの転送はシリアルインタフェースを通じて行われます。

-  外部のジョブを終了します。
-  規定量を入力

Auftrags-Nr.:	20051	externen Auftrag beenden
Sollmenge:	250 l/ha	1/ha
fertige ha:	0.00 ha	
Stunden:	0.0 h	
ausgeb. Menge:	0 Li.	

図 13



3.1.4 キャリブレーションテスト

キャリブレーションテストにより、後の播種で希望する播種量が得られるか確認します。

次の場合にはキャリブレーションテストを必ず実行してください。

- 種子の変更時
- 種子の種類が同じでも、サイズや形状が異なったり、特定の重量であったり、異なる滅菌剤を使用する場合
- 標準シードホイールから精密シードホイールに切り替えた場合、またはその逆に切り替えた場合
- キャリブレーションテストと実際の播種量に違いがある場合。

3.1.4.1 種子量遠隔調節システムのあるシードドリルのキャリブレーション


種子用タンクに種子を十分に補充してください。


シードドリル取扱説明書に従い、収容容器を計量ユニットの下に置きます。

 希望する播種量を確認/入力します。

注記:

この値はジョブメニュー (3.1.2 章) でも入力できます。

ギアレバーを  キー

または  キーで次のように設定します。

ギア設定「50」: 通常のシードホイールによる播種

ギア設定「15」: 精密シードホイールによる播種



AMATRON 3

で表示されるギア設定は、目盛りに表示されているものと一致しなければなりません。

一致しない場合には、ギアのキャリブレーションを 6.1 章に従って実行する必要があります。


- 計量装置の窓を閉じます。
- 計量ホイールのすべてのチャンバに種子が充填され、収容容器に同等の量の種子が流れ込むまで、シードドリル取扱説明書に従い、キャリブレーションクランクでスターホイールを左または右に回してください。
- 収容容器の中身を空にします。

- Sollmenge eingeben - Getriebe position vorwählen - Abdrehen starten - Kurbel mindesten bis Signalton drehen - abgedrehte Menge in kg eingeben	kg/ha K/m²
aktuell eingestellt: Arbeitsbreite: 2.5 m Sollmenge: 15.00 kg/ha Getriebe position: 62.5	100 + 100 - Abdreh. starten

図 14

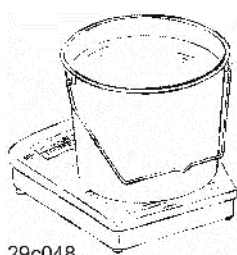


を押し、ディスプレイの指示に従います:

- 信号音が鳴るまで、シードドリルの取扱説明書に従ってドライブホイールをクランクで回転させてください。信号音が鳴った後にさらに回すと、計算時に AMATRON 3 がそれを考慮します。
- キャリブレーションプロセスを終了するには、信号音が鳴った後に  キーを押します。
- 収容容器に入った種子の重さを量り (容器の自重を考慮すること)、重量 (kg) を端末で入力してください。



使用する量りは正確でなければなりません。精度が低いと、実際の播種量で誤差が生じる恐れがあります。



29c048

AMATRON 3 は、キャリブレーションテストで得られた入力済みのデータをもとに、必要なギア位置を算出し、設定します。

設定が正しいか確認するため、キャリブレーションプロセスを繰り返し実行します。



キャリブレーションを繰り返すには、新しく検出したギア設定を使用してください (ギア位置 15 または 50 で始動しないでください)。


3.1.5 セットアップメニュー

セットアップメニューでは

- メンテナンスや異常時にカスタマーサポート用に診断データを入力および出力します。
- ディスプレイ用の設定を変更します。
- 機械基本データの選択と入力を行うか、または特殊装備を ON または OFF にします (カスタマーサービス専用) 。



セットアップメニューの設定は工場で行うものであり、専門の訓練を受けた作業員だけがこれを実行できます。

セットアップメニューのページ 1  (図 15):



コンピュータ診断入力
(カスタマーサポート専用)



コンピュータ診断出力
(カスタマーサポート専用)



故障した距離センサで作業を続けるためにシミュレートした速度を入力 (8.2 章を参照)



ページ 1  基本データ (図 16):



機械タイプの選択



トラムラインシステムの選択:

- 業者
- シングルトラムライン、トラムラインモーター 1 台の操作
- ダブルトラムラインモーター 2 台の操作

最後に表示した値が保存されます。



種子量調整システムを設定します。

Gesamtdaten seit Inbetriebnahme:		→ 00110 ← 00110
Gesamtfläche:	59874 ha	
Gesamtdrillzeit:	123 h	
Gesamtmenge:	1047795 kg	
simulierte km/h:	0.0 km/h	km/h sim.
MHX-Version: 2.05 IOP-Version: 3.1.2 AW -Gaste/AG-429		Setup 01/02

図 15






Maschinentyp:	D9/AD03	
Fahrgassensystem konfigurieren		
Saatmengenverstellung konfigurieren		
		konfig. konfig.
		01/04

図 16



-  種子量遠隔調節を選択:
 - 種子量遠隔調節なし
 - 無段階式ギアボックスあり最後に表示した値が保存されます。
-  Cal.
ギアボックスのキャリブレーションを実行します (6.1 章を参照)。







Saatmengenverst.: Vario	
Getriebegrundeinstellung vornehmen	

図 17

 ページ 2  02/04 基本データ (図 18):

-  ? トラックマーカセンサの数
 - 1 個 (トラックマーカ位置検知用のトラックマーカセンサ 1 個)
 - なし (トラックマーカ位置検知用のトラックマーカセンサが備わっていない)
-  KG 1/min ? ロータリーカルチベータ監視を選択:
 - あり (回転数センサあり)
 - なし (回転数センサなし)
-  ? 種子用タンクの充填レベルセンサ:
 - あり
 - なし
-  ? 計量ホイールの監視
 - あり
 - なし

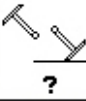


Spuranreisser-sensor:	einer	
KG-Drehzahl-sensor:	nein	KG 1/min ?
Füllstandssensor:	ja	
Säwellensensor:	ja	

図 18

ページ 3 基本データ (図 19):

- 計量ホイールアラーム時間の入力
- トラムラインシステムアラーム時間の入力
- 副軸アラーム時間の入力 (カムホイールシードドリルでのみ可能)

Alarmzeit Säwelle: 10s	
Alarmzeit Fahrgasse: 10s	
Alarmzeit Stillstand der Vorgelegewelle bei Fahrgasse: 10s	

図 19

ページ 4 基本データ (図 20):

- 作業幅の入力 (m)
 - 事前マーキングの選択:
 - なし
 - 油圧作動式
 - 電気作動式
- 最後に表示した値が保存されます。

Arbeitsbreite: 2.5m	
Vorauslaufmarki.: hydraulisch	

図 20

セットアップメニューのページ 2 (図 21):

- 機械データを工場設定にリセットします。入力および蓄積されたすべてのデータ (ジョブ、機械データ、キャリブレーション値、セットアップデータ) は失われます。

Wollen Sie wirklich alle Daten auf Werkseinstellung zurücksetzen? NEIN mit ESC JA mit Eingabetaste		RESET Maschinen-rechner

図 21



4. 圃場での使用

播種を開始する前に、AMATRON 3
に次のデータがなければなりません。

- ジョブデータ (3.1.2 章を参照)
- 機械データ (3.1.1 章を参照)
- キャリブレーションテストのデータ (3.1.3 章を参照)

種子量遠隔調節システム付き機械:

キーを押すことで、作業中に播種量を任意に変更できます。



キーを押すごとに播種量が一定幅ずつ
(3.1.1 章) 増加します (+10% など)。



播種量を 100% にリセットします。



キーを押すごとに播種量が一定幅ずつ (3.1.1 章) 減少します (-10% など)。



圃場への移動中および公道走行中は、
必ず AMATRON 3 の電源を切ってください！

4.1 作業メニュー D9/AD03

4.1.1 作業メニューの表示

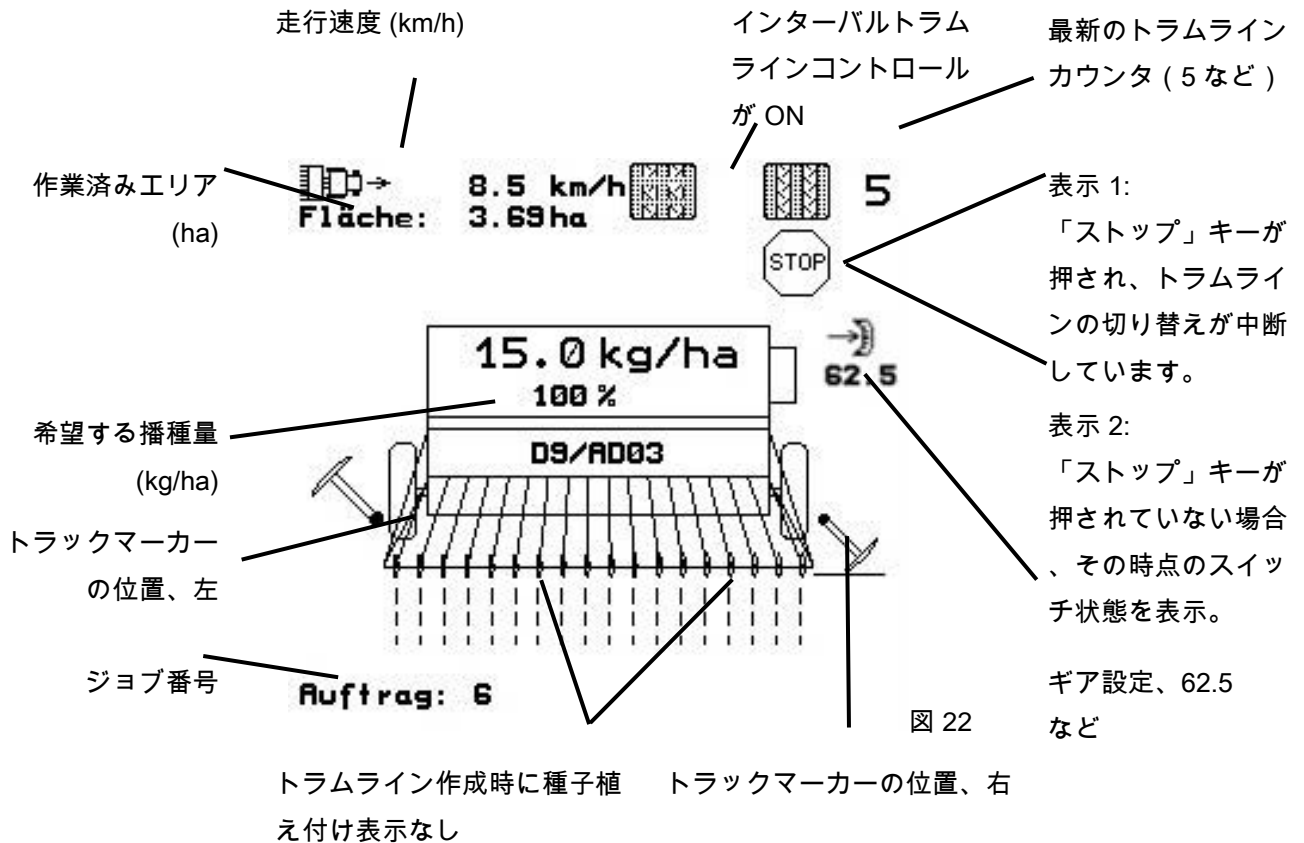





図 22

4.1.2 使用時の手順

-  **AMATRON 3** を ON にします。
- 希望するジョブをメインメニューで選択し、設定を確認
-  ジョブの開始
-  作業メニューを選択します。
 - 初回圃場走行用にトラックマーカを設定
 - 初回圃場走行用にトラムラインカウンタを設定。
- 播種を開始します。

播種中は、AMATRON 3 には作業メニューが表示されます。ここから播種に必要なすべての設定を実行します。
- 検出した値は開始しているジョブに保存されます。





使用後：

- ジョブデータを確認します (希望する場合) 。
-  **AMATRON 3** を OFF にします。



4.1.3 作業メニューのキーの割り当て

作業メニューのページ 1 (図 23):

-  インターバルトラムラインコントロールの ON または OFF
-  トラムラインカウンタ OFF または ON (「STOP」キー)
-  トラムラインカウンタを後ろに切り替える
-  トラムラインカウンタを前に切り替える

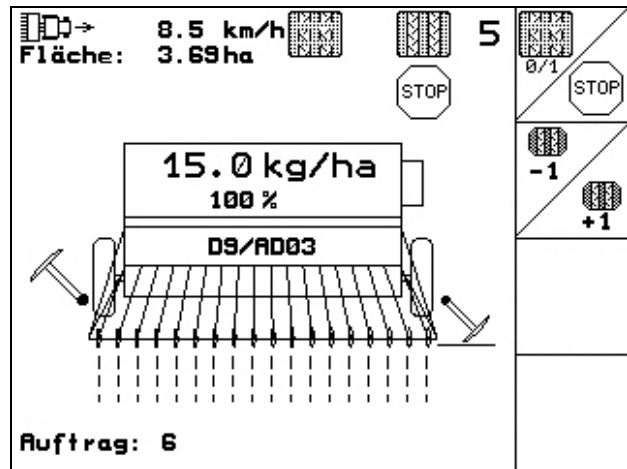


図 23

4.1.4 マルチファンクションスティックの割り当て

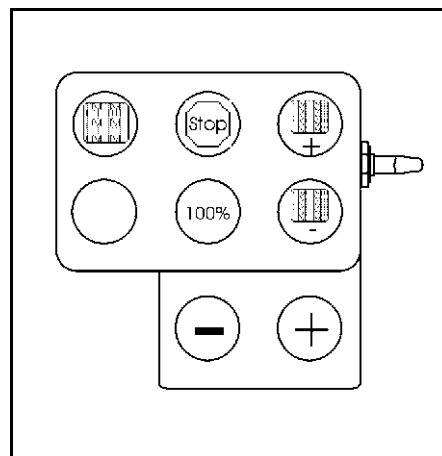


図 24

5. マルチファンクションハンドル

5.1 オプション

マルチファンクションハンドル (図 25/1) は 4 本のねじにより、トラクターキャビンの握りやすい位置に固定します。

基本装備のプラグをマルチファンクションハンドルの9ピンSub-Dソケット (図 25/2) に差し込んで接続します。

マルチファンクションハンドルのプラグ (図 25/3) は、AMATRON 3 の中央の Sub-D ソケットに差し込みます。

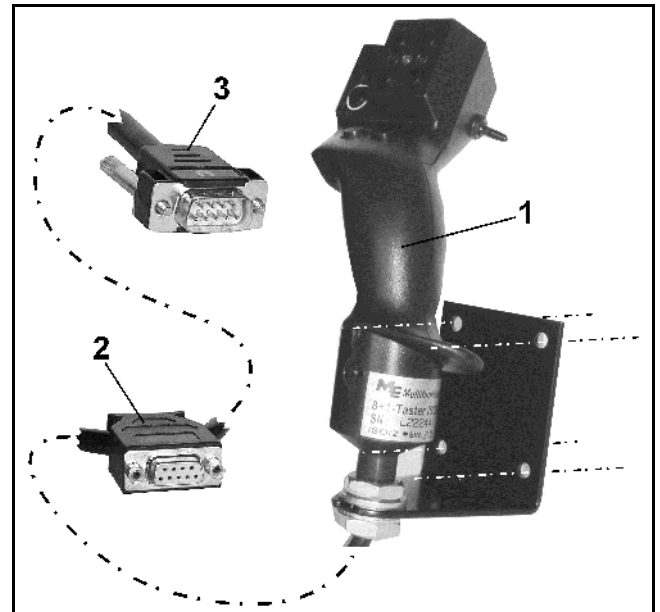


図 25




5.2 機能

マルチファンクションハンドルには AMATRON 3 の作業メニューの機能だけが備わっています。このハンドルにより、圃場で AMATRON 3 を容易に操作できます。




AMATRON 3

の操作用に、マルチファンクションハンドル (図 26) には、8 個のボタン (1~8) が付いています。さらにボタンの割り当ては、スイッチ (図 27/2) を使って 3 段階で切り替え可能です。

スイッチのデフォルト位置:

-  中央位置 (図 27/A)。
- 次のように動かすことが可能 :
-  上 (図 27/B) または
-  下 (図 27/C)

スイッチの位置はLED (図 27/1) で表示されます。

-  LED表示、黄色
-  LED表示、赤色
-  LED表示、緑色

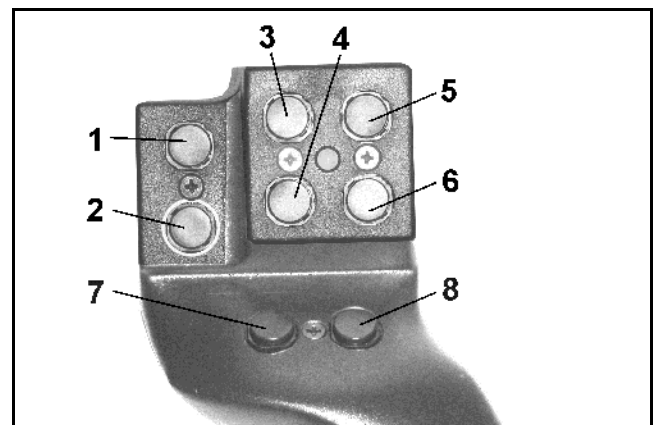


図 26

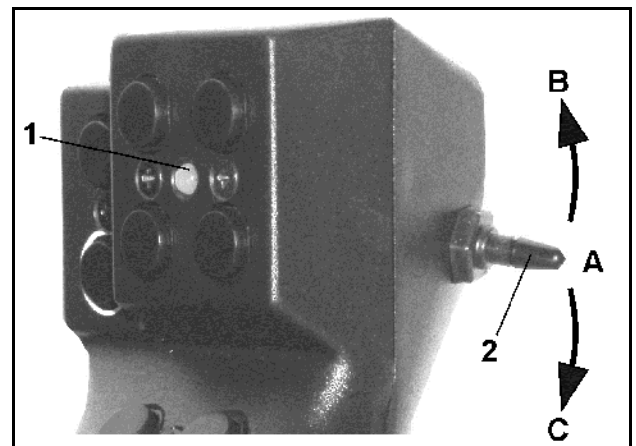


図 27



5.3 キーの割り当て:

キー	D9 / AD03
1	インターバルトラムラインコントロールの ON / OFF
2	
3	トラムラインカウンタ OFF / ON
4	量 100%
5	トラムラインを前に切り替える (1)
6	トラムラインを後ろに切り替える (-1)
7	- 量 [%]
8	+ 量 [%]



スイッチ操作時に

上へ / 下へ キーは割り当てられて
いません。

6. メンテナンス

6.1 ギアボックスのキャリブレーション

ギアボックスが備わったシードドリルは、次の場合にキャリブレーションを実行する必要があります。




- **AMATRON 3** が工場から機械と一緒に出荷
さ
れず、あとから設置する場合、初回使用前に。
- 端末の表示とギアボックスの目盛りの表示に違いがある場合。



セットアップメニューのページ 1。



ギアボックスのキャリブレーション:

-  電子モーターで LED
が点灯するまで、ギアレバーを目盛り値 0
に動かします。
-  ギアを 80 を超える目盛り値に変
更します。
-  設定を確定し、ギアレバーの目盛りで表
示された値を、自動的に開くメニューウィンド
ウ (図 29) に入力します。



読み間違いを避けるため、目盛りの値は
常に正面から読み取ってください。

- キャリブレーションプロセス後、ギアを別の目
盛り値に移動させてください。表示された値は
目盛りの値に相当しなければなりません。

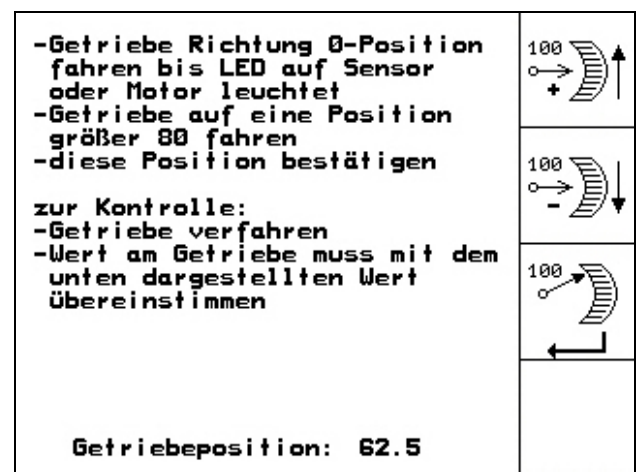


図 28

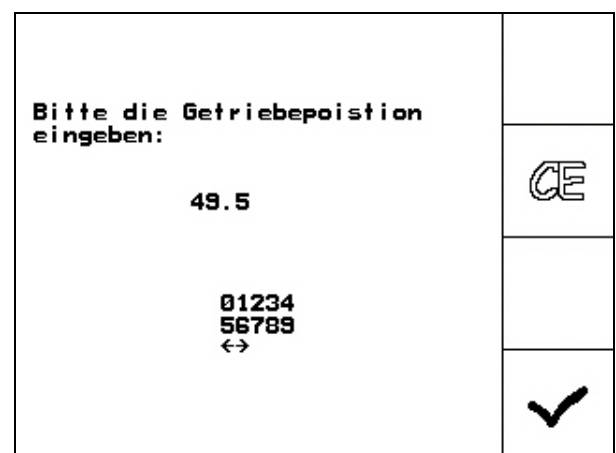


図 29



7. ヘルプメニュー

ヘルプメニュー (図 30) をメインメニューから開始:



ヘルプメニュー:

- 1

 操作に関するヘルプ
- 2

 エラーメッセージに関するヘルプ
- 3

 トラムライン作成についてのヘルプ

Hilfe	1
1.Hilfe zur Bedienung	2
2.Hilfe zu Fehlermeldungen	3
3.Fahrgassenrhythmen	

図 30

8. 故障

8.1 アラーム

危険度の低いアラーム:

エラーメッセージ (図 31) がディスプレイの下のエリアに表示され、信号音が3回鳴ります。

可能な場合にはエラーを取り除きます。

例 :

充填レベルが低すぎる。

対策: 種子を補充します。


Maschinentyp:	D9/AD03	Auftrag
Auftrags-Nr.:	6	Drille abdreh.
Fahrgassenrhythmusnr.:	15	Maschi.
Arbeitsbreite:	2.5m	Setup
Füllstand zu niedrig		


図 31

危険度の高いアラーム:

アラーム通知 (図 32) がディスプレイの中央に表示され、信号音が1回鳴ります。

- 画面に表示されたアラーム通知を読みます。

-  ヘルプテキストの呼び出し

-  アラーム通知を確定します。

Maschinentyp:	D9/AD03	Auftrag
<div>Getriebemotor reagiert nicht</div> <div>mit Eingabetaste bestätigen oder mit Blättern zur Hilfe</div>		Drille abdreh.
		Maschi.
		Setup
Arbeitsmenü		Hilfe

図 32

8.2 距離センサの故障



ギアボックスまたは完全配分ではスターホイールに固定されている距離センサ (Imp./100m) が故障した場合、シミュレートされた作業速度を入力した後、作業を続行できます。


距離センサの故障は「ドリル上昇」で表示されます。

播種を正しく行うために、故障した距離センサは交換してください。

すぐに新しいセンサを用意できない場合には、次の手順で作業を続行できます。

- 故障した距離センサの信号ケーブルをジョブコンピュータから取り外します。

-  をメインメニューで確定します。
-  シミュレートされた速度を入力します。
- 作業中は、入力したシミュレーションによる速度を守らなければなりません。

 距離センサでインパルスが登録されると、コンピュータはすぐに距離センサの実際の速度に切り替わります。


Gesamtdata seit Inbetriebnahme:		→ 00110	← 00110
Gesamtfläche:	59874 ha		
Gesamtdrillzeit:	123 h		
simulierte km/h:	0.0 km/h		km/h sim.
MHX-Version: 2.09 IOP-Version: 4.2.6 AW -Gaste/AG-429		01 / 02	Setup 

図 33





AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen-Gaste

~

電話: ++49 (0) 54 05 50 1-0

Fax: ++49 (0) 54 05 50 11 47

e-mail: amazone@amazone.de

工場 : D-27794 Hude • D-04249 Leipzig • F-57602 Forbach

支社 : イギリス、フランス

無機質ブロードキャスター、スプレーヤー、シードドリル、整地機械、

多目的倉庫および共同ユニットのメーカー